

琉球大学学術リポジトリ

小浜島初記録のマルベンケイガニおよびリュウキュウアカテガニ (甲殻亜門: 十脚目: ベンケイガニ科)

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学資料館 (風樹館) 公開日: 2020-10-06 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 石田, 憲, Ishida, Akira メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/46860



小浜島初記録のマルベンケイガニおよびリュウキュウアカテガニ
(甲殻亜門：十脚目：ベンケイガニ科)

石田憲

〒903-0105 沖縄県中頭郡西原町字東崎 4-4 株式会社南西環境研究所
(ishida@nansei-kankyo.co.jp)

記録

マルベンケイガニ *Circulium scandens* (Ng & Liu, 2003) は、台湾をタイプ産地とするベンケイガニ科 Sesarmidae Dana, 1851 の一種であり (Ng & Liu 2003), *Labuanium* Serène & Soh, 1970 の一種として記載され, Naruse & Ng (2020) により *Circulium* Naruse & Ng, 2000 に移された。本種は台湾の他に、石垣島より日本初記録として報告され (西垣ら 2013), その後西表島からも発見さ

れている (豊田・関 2019; Naruse & Ng 2020)。リュウキュウアカテガニ *Chiromantes ryukyuenum* Naruse & Ng, 2008 は、マルベンケイガニと同様にベンケイガニ科の一種であり、西表島、沖縄島、加計呂麻島、奄美大島から分布記録がある (成瀬 2017)。

筆者は、2014年9月に八重山諸島の小浜島においてマルベンケイガニおよびリュウキュウアカテガニの生息を確認したため、ここに報告する。

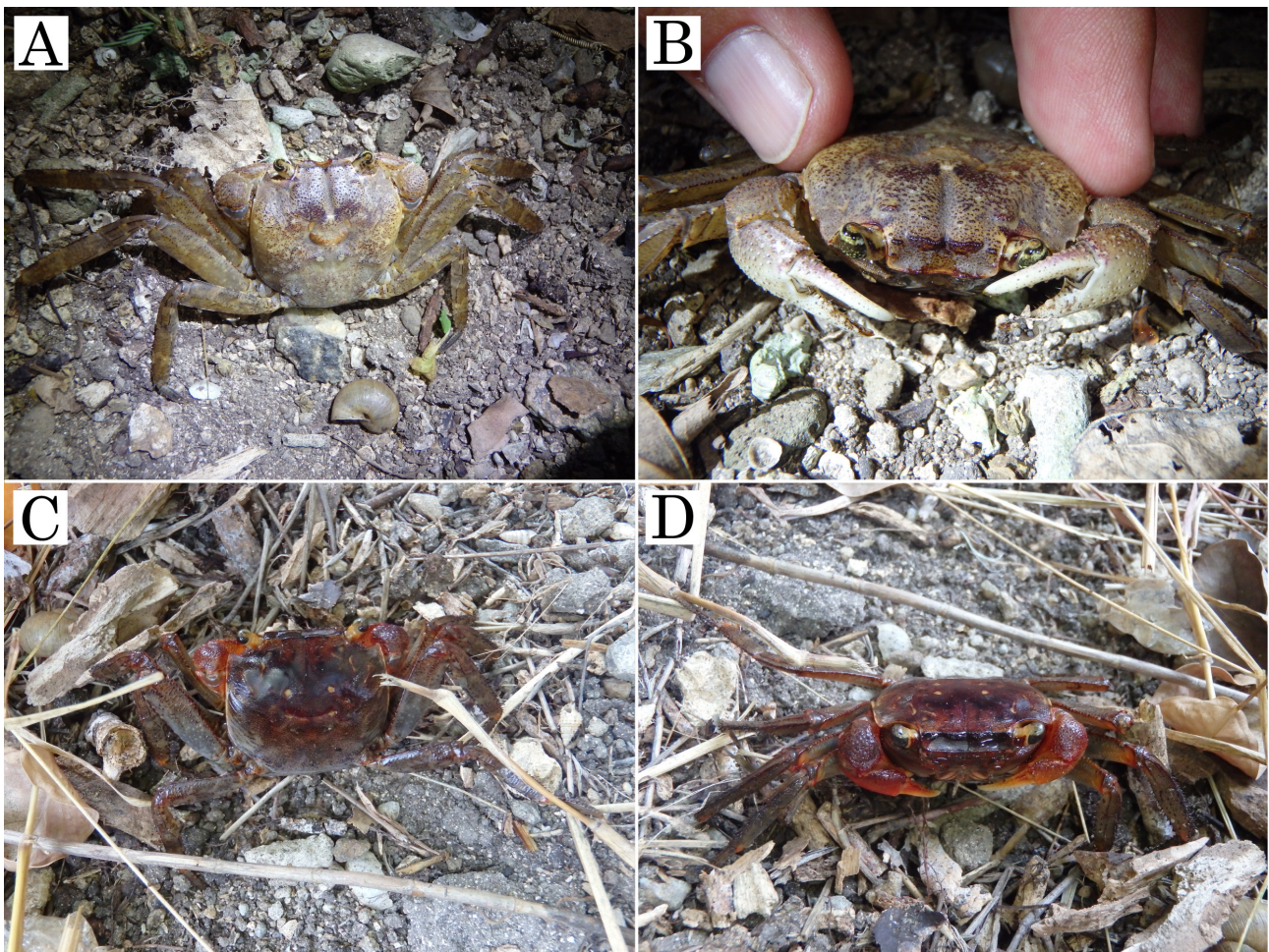


図1. 小浜島で確認されたマルベンケイガニ (雌. A, 背面; B, 前面) およびリュウキュウアカテガニ (雌雄不明. C, 背面; D, 前面.)

Fig. 1. *Circulium scandens* (Ng & Liu, 2003) (female. A, dorsal view; B, frontal view) and *Chiromantes ryukyuenum* Naruse & Ng, 2008 (sex unknown. C, dorsal view; D, frontal view) found on Kohama-jima Island.

マルベンケイガニ。小浜島において夜間に、2箇所で計4個体(各箇所2個体ずつ)を確認し、うち1個体(雌)(図1A, B)を一時的に捕獲して、写真撮影および雌雄の確認を行った後に捕獲場所に放逐した。その他の個体は、捕獲せず外観から形態を観察した。

これらの個体は次のような形態的特徴を具えていた:(1)甲が鰓域の膨らみにより側縁が側方に膨らむ形で丸みがある;(2)甲の前側縁には眼窩外歯を含め3歯を具え、眼科外歯が最も大きく前方に向けて尖る;(3)甲の表面は細かな顆粒が散在し、胃域および鰓域が明瞭に膨らんでおり、それらは幅広い溝により区分される;(4)額域は前方へ強く垂下する;(5)掌部外面は多くの小顆粒で密に覆われる。これらの特徴は、西垣ら(2013)が示したマルベンケイガニの記載とよく一致した。

保全上の理由により全ての個体は採集せずに放逐した。また同様の理由から確認環境の記載は控えるが、確認した2箇所間の距離は約50mであり、連続する植生内に生息していた。

リュウキュウアカテガニ。日中に1個体、夜間に5箇所で6個体の計7個体を確認し、うち1個体(雌雄不明)(図1C, D)を一時的に捕獲して、写真撮影を行った後に捕獲場所に放逐した。その他の個体は、捕獲せず外観から形態を観察した。

これらの個体は次のような形態的特徴を具えていた:(1)甲は四角い;(2)側縁より歯を欠く;(3)体色は赤色を基調に黒の模様が入る。これらの特徴は、成瀬(2017)が示したリュウキュウアカテガニの記載とよく一致した。

確認環境は、上述で確認したマルベンケイガニと同様の環境で3個体、その他の環境で4個体を確認した。

謝辞

本稿をとりまとめるにあたり、株式会社かんきょう社の前之園唯史氏にはマルベンケイガニに関する有益な情報の提供や、投稿前の原稿を校閲して頂き、多大なるご協力を頂きました。ここに、衷心より感謝の意を表します。また、本稿の情報は、沖縄県土木建築部八重山土木事務所の委託業務である生物調査において得たものです。本情報を公開することへのご理解および投稿について快諾して頂いたご関係者の皆様に厚くお礼を申し上げます。

引用文献

前之園唯史・成瀬貫, 2017. マルベンケイガニ.

- 沖縄県環境部自然保護課(編), 改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物 第3版(動物編)—レッドデータおきなわ—. Pp. 320, 沖縄県環境部自然保護課, 那覇市.
- 前之園唯史・成瀬貫, 2016. 石垣島より採集された日本初記録のベンケイガニ科(甲殻亜門: 十脚目: 短尾下目)の2種. *Fauna Ryukyuna*, 28: 5–22.
- 成瀬貫, 2017. リュウキュウアカテガニ. 沖縄県環境部自然保護課(編), 改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物 第3版(動物編)—レッドデータおきなわ—. Pp. 319–320, 沖縄県環境部自然保護課, 那覇市.
- Ng, P.K.L. & H.-C. Liu, 2003. On a new species of tree-climbing crab of the genus *Labuanium* (Crustacea: Decapoda: Brachyura: Sesarmidae) from Taiwan. *Proceedings of the Biological Society of Washington*, 116(3): 601–616.
- 西垣孝治・比嘉高明・小林峻・谷本拓夢・長井隆・成瀬貫, 2013. 石垣島と西表島より採集された日本初記録の樹上性甲殻類・マルベンケイガニ(甲殻亜門: 十脚目: 短尾下目: ベンケイガニ科). *Fauna Ryukyuna*, 5: 1–7.
- Naruse, T. & P. K. L. Ng, 2008. A new species of *Chiromantes* s. str. (Decapoda: Brachyura: Sesarmidae) from the Ryukyu Islands, Japan, with a note on the identity of *Holometopus serenei* Soh, 1978. *Crustacean Research*, 37: 1–13.
- Naruse, T. & P. K. L. Ng, 2020. Revision of the sesarmid crab genera *Labuanium* Serène and Soh, 1970, *Scandarma* Schubart, Liu and Cuesta, 2003 and *Namlacium* Serène and Soh, 1970 (Crustacea: Decapoda: Brachyura: Sesarmidae), with descriptions of four new genera and two new species. *Journal of Natural History*, 54: 7–8, 445–532.
- 豊田幸詩・関慎太郎, 2019. 日本産 淡水性・汽水性エビ・カニ図鑑. 緑書房, 東京.

New distributional record of *Circulium scandens* (Ng & Liu, 2003) and *Chiromantes ryukyuanum* Naruse & Ng, 2008 (Crustacea: Decapoda: Sesarmidae) from Kohama-jima Island, Ryukyu Archipelago, southwestern Japan

Akira Ishida

Nansei Environmental Laboratory, 4-4 Agarizaki,
Nishihara, Okinawa 903-0105, Japan
(ishida@nansei-kankyo.co.jp)

Abstract. Two sesarmid crab species, *Circulium scandens* (Ng & Liu, 2003), and *Chiromantes ryukyuanum* Naruse & Ng, 2008, are newly recorded from Kohama-jima Island, Ryukyu Archipelago, southwestern Japan.

投稿日 : 2020 年 2 月 13 日
受理日 : 2020 年 8 月 31 日
発行日 : 2020 年 10 月 2 日